

新春特別座談会

技術と人材生かし「稼げるまち」実現

「環境先進都市」北九州市から世界に発信

2025年早々、北九州市はビッグニュースに沸いた。長年人口の流出に苦しんでいたが、24年は1964年以来実に60年ぶりに転入が転出を492人上回る転入超過を実現したのだ。全国の政令市で高齢化率が最も高く、若者の人材流出も激しい同市だが、武内和久市長は「人口100万都市の復活」「稼げるまち」を掲げて企業誘致や行政・地場企業のデジタル変革（DX）などを積極的に進め、人口流出に歯止めをかけた。本座談会は武内市長と産学のトップをお招きし、サステナブルシティ（持続可能なまち）をテーマに、さらなる発展のための取り組みや課題を語り合った。



北九州市長 武内氏

面を考えると、そういう循環の中に学生が関わること自然と人材が生まれ、それが出来上がっていく。出来上がった人材が、上から人材が社会貢献のために活躍すれば、地域との連携も進むというサステナブルシティが実現する。岡本 課題先進国の中でサステナブルシティを実現すること自体に価値がある。ただ全国同時に実現させるのは難しいので、九州の中核都市である北九州市が先陣を切って取り組むことが他都市の手本になる。最新のスキルを持つ人材は都市部に偏りがちだが、そういった人材を地域に呼び込むことで地域経済が発展する。ただ首都圏の人材がいきなり地方に来て何か

武内市長は就任以来、「稼げるまち」を目指してさまざまな政策に取り組んでいく。最近では世界的にサステナブル（持続可能な）という言葉が注目され、企業もサステナブル経営を意識せざるを得なくなっている。まずは武内市長が考える北九州市のサステナブルな企業を求める取り組みを伺います。

武内 「稼げるまち」を作っていく上では一時的ではなく、持続可能にしつかりと経済活動を行い続ける必要がある。その結果、さまざまな社会課題を解決していく流れを循環させていくというところが大事になる。北九州市は世界をリードするサステナブルシティを目指す。日本で一番高齢化が進んでいる政令市であるからこそ、このまちから新しいモデルを作っていく。過去には深刻な公害を克服しながら、いまや環境先進都市に成長したのは、サステナブルな街や産業をつくるDNAを持っている証でもある。一口にサステナブルといっても環境だけでなくエネルギーや地域コミュニティなどさまざまな課題を多面的に捉え、ピンチをチャンスに変える努力が必要だ。稼げるまちを実現するに



九州工業大学学長 三谷氏

北九州から新しいモデル作る 武内氏

企業が稼げる環境づくり重要 西原氏

デジタル人材を地域で育てる 岡本氏

人材の活躍が持続可能性育む 三谷氏

面を考えると、そういう循環の中に学生が関わること自然と人材が生まれ、それが出来上がっていく。出来上がった人材が、上から人材が社会貢献のために活躍すれば、地域との連携も進むというサステナブルシティが実現する。岡本 課題先進国の中でサステナブルシティを実現すること自体に価値がある。ただ全国同時に実現させるのは難しいので、九州の中核都市である北九州市が先陣を切って取り組むことが他都市の手本になる。最新のスキルを持つ人材は都市部に偏りがちだが、そういった人材を地域に呼び込むことで地域経済が発展する。ただ首都圏の人材がいきなり地方に来て何か

三谷 大学の使命は教育、研究、社会貢献だが、このうち社会貢献は技術面を支えるためのサステナブルシティ（持続可能性）経営ということ

西原 この地で生まれ育った私にとって「稼げるまち」は喜ばしい言葉だ。街も企業も稼げなければ持続可能性は生まれないし、生活も豊かにならない。頑張る企業が稼げる環境を産学官で作り上げていく仕組みは大事だ。日本の総人口は30年後の2050年には1億人を割り込むと言われている。現在より約2600万人減るわけだが、これは九州と中・四国の人



北九州市のさらなる発展を誓い合った

北九州市 座談会 出席者

- | | |
|-----------------|--------|
| 北九州市長 | 武内 和久氏 |
| 九州工業大学学長 | 三谷 康範氏 |
| みらいワークス社長 | 岡本 祥治氏 |
| 西原商事ホールディングス社長 | 西原 靖博氏 |
| 同会／日刊工業新聞社西部支社長 | 武田 則秋 |

くさみ

空港最寄駅

JR 杵網駅に特急停車が実現

特急を使って 北九州空港へ

2025.4.1 START

「杵網駅特急ルート」誕生

杵網駅に上下計10本の特急が停車します

エアポートバス 増便

杵網線 27便→40便

くさみせん Kusami Line

杵網駅 北九州空港

小倉線(ノンストップ便) 17便→21便

こくらせん Kokura Line

小倉駅 北九州空港

Kitakyushu Action!

動かせ、未来。北九州市

2024(令和6)年 60年ぶりの人口転入超過

ふっかつの北九州市

社会動態 +492人

15秒動画はこちら

https://www.youtube.com/watch?v=FZzPYTMMc84

ZENRIN

Maps to the Future

www.zenrin.co.jp

株式会社 ゼンリン 〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町3番1号

変革できる学びの共創プラットフォーム

Kyutech ARISE

Kyutech ASIRE とは？

九州工業大学のもつ教育リソースを活用した卒業生やエンジニア等の社会人向けリカレント・リスキリング教育および研修、就業支援事業等の生涯学習支援を行う人材育成プラットフォーム会社です。

社会人ジュニア

ミドル

シニア

就業し社会に貢献

キャリアアップ キャリアチェンジ

人生100年時代における社会貢献

大学との学びの循環

会社概要

設立：2024年4月1日

所在地：福岡県飯塚市川津 680-4 九州工業大学 飯塚キャンパス内

株主：九州工業大学

パートナー企業募集中

主なパートナー様

株式会社ノスジャパン

株式会社フィナンシャルホールディングス 他

国立大学法人 九州工業大学

専門・実践知の学び直し(学び増し)

新春特別座談会

世界をリードするサステナブルシティへ



西原商事HD 西原氏

「サステナブル都市の実現に人材教育は重要なテーマです。」
三谷 本学は15年の歴史があり、モブツの街としていろいろな企業に囲まれている。技術を磨き、教育も行ってきた。最近ではロボットや宇宙の研究を行っている。こういう分野は規制が多く研究が進まないケースもあるが、北九州市は国家戦略特区を通じて規制を打ち破る部分に力を注いでいた。大変感謝している。

企業・地域のDX推進へ人材教育重要

西原 難しいデジタル化を副業でできる秘訣は、
岡本 中小企業はフルタイムで対応しきれない。週に何度か、または週末に副業で取り組むというのペースがちょうどいいはずだ。

西原 当社もITシステムの相応のコストをかけている。現場の目線とDX人材の目線は違うので、ギャップを埋めるような取り組みとありがたい。
三谷 北九州市内企業のIT導入、DX化をどう見ているか。
岡本 まだ事業を始め

西原 経済産業省が中小企業の優良事例を選定するDXセレクションの準グランプリや、第1回北九州DX大賞などの評価もいただいたが、社員の理解度には差がある。あらためて学びたいと思う。
三谷 デジタル化はなかなか浸透しません。岡本 デジタル化は若いデジタルネイティブに任せただけでなく地域に

西原 企業を誘致し投資で経済成長をけん引し、それによって財政を健全化する。こういった成長戦略を一貫して行っている。このまちに来れば投資したくなる、雇用が増える、さらに人材が集まるという循環をどうやっていく必要がある。人口減は日本全体の問題なのだが、北九州市が持つポテンシャルがあると、まだ人材や企業を集めていく素地は十分にある。できるかできないかではなく、やるかやらないかだ。昨年は1964年以来実に60年ぶりに人口の社会動態における転入超過が実現した。政令市において最長期間の転入超過を乗り越えた、まさに「ふたつ」の北九州」と言える快挙と捉えている。これを機にさらなる反転攻勢を仕掛けていきたい。

西原 未来に大きな危機感を持っている。内需の縮小がもたらす影響は、今まで当たり前だったことが当たり前ではなくなる時代がくるということだ。大好きなこの北九州がもっと活気あふれるまちになるように、私たち民間企業も全力で頑張っていきたい。

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 企業を誘致し投資で経済成長をけん引し、それによって財政を健全化する。こういった成長戦略を一貫して行っている。このまちに来れば投資したくなる、雇用が増える、さらに人材が集まるという循環をどうやっていく必要がある。人口減は日本全体の問題なのだが、北九州市が持つポテンシャルがあると、まだ人材や企業を集めていく素地は十分にある。できるかできないかではなく、やるかやらないかだ。昨年は1964年以来実に60年ぶりに人口の社会動態における転入超過が実現した。政令市において最長期間の転入超過を乗り越えた、まさに「ふたつ」の北九州」と言える快挙と捉えている。これを機にさらなる反転攻勢を仕掛けていきたい。

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

企業・地域のDX推進へ人材教育重要

西原 難しいデジタル化を副業でできる秘訣は、
岡本 中小企業はフルタイムで対応しきれない。週に何度か、または週末に副業で取り組むというのペースがちょうどいいはずだ。

西原 当社もITシステムの相応のコストをかけている。現場の目線とDX人材の目線は違うので、ギャップを埋めるような取り組みとありがたい。
三谷 北九州市内企業のIT導入、DX化をどう見ているか。
岡本 まだ事業を始め

西原 企業を誘致し投資で経済成長をけん引し、それによって財政を健全化する。こういった成長戦略を一貫して行っている。このまちに来れば投資したくなる、雇用が増える、さらに人材が集まるという循環をどうやっていく必要がある。人口減は日本全体の問題なのだが、北九州市が持つポテンシャルがあると、まだ人材や企業を集めていく素地は十分にある。できるかできないかではなく、やるかやらないかだ。昨年は1964年以来実に60年ぶりに人口の社会動態における転入超過が実現した。政令市において最長期間の転入超過を乗り越えた、まさに「ふたつ」の北九州」と言える快挙と捉えている。これを機にさらなる反転攻勢を仕掛けていきたい。

西原 未来に大きな危機感を持っている。内需の縮小がもたらす影響は、今まで当たり前だったことが当たり前ではなくなる時代がくるということだ。大好きなこの北九州がもっと活気あふれるまちになるように、私たち民間企業も全力で頑張っていきたい。

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

企業・地域のDX推進へ人材教育重要

西原 難しいデジタル化を副業でできる秘訣は、
岡本 中小企業はフルタイムで対応しきれない。週に何度か、または週末に副業で取り組むというのペースがちょうどいいはずだ。

西原 当社もITシステムの相応のコストをかけている。現場の目線とDX人材の目線は違うので、ギャップを埋めるような取り組みとありがたい。
三谷 北九州市内企業のIT導入、DX化をどう見ているか。
岡本 まだ事業を始め

西原 企業を誘致し投資で経済成長をけん引し、それによって財政を健全化する。こういった成長戦略を一貫して行っている。このまちに来れば投資したくなる、雇用が増える、さらに人材が集まるという循環をどうやっていく必要がある。人口減は日本全体の問題なのだが、北九州市が持つポテンシャルがあると、まだ人材や企業を集めていく素地は十分にある。できるかできないかではなく、やるかやらないかだ。昨年は1964年以来実に60年ぶりに人口の社会動態における転入超過が実現した。政令市において最長期間の転入超過を乗り越えた、まさに「ふたつ」の北九州」と言える快挙と捉えている。これを機にさらなる反転攻勢を仕掛けていきたい。

西原 未来に大きな危機感を持っている。内需の縮小がもたらす影響は、今まで当たり前だったことが当たり前ではなくなる時代がくるということだ。大好きなこの北九州がもっと活気あふれるまちになるように、私たち民間企業も全力で頑張っていきたい。

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

リスキリング通じて社内改革
社会人向け教育の新会社設立

岡本氏
三谷氏



みらいワークス社長 岡本氏

もつと女子の学生が増え、彼女たちが企業で活躍してくれるようになれば、その野は広がる。学生が増えれば将来は技術者が国内からいなくなってしまう。

岡本 北九州市には長い歴史があり、学校も多い。また製造業がこも地域に根付いているのは全国でも珍しい。発展のために我々が協力して手助けできればいい。

西原 未来に大きな危機感を持っている。内需の縮小がもたらす影響は、今まで当たり前だったことが当たり前ではなくなる時代がくるということだ。大好きなこの北九州がもっと活気あふれるまちになるように、私たち民間企業も全力で頑張っていきたい。

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

西原 最大の課題は人口減少です。
三谷 人口減で最も怖いのは学生が減り、学校間で奪い合いになることだ。若者が減れば企業の雇用にも響いてくる。大

SHK “診る”を究めて
新日本非破壊検査株式会社

営業本部 〒803-8517 北九州市小倉北区井堀4丁目10番13号
TEL:093(581)1234 FAX:093(581)4567
https://www.shk-k.co.jp e-mail:ieigyuu@shk-k.co.jp

東京営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-19
aLATO日本橋小伝馬町3階
TEL:03(6661)1307 FAX:03(6661)1308
e-mail:tokyo@shk-k.co.jp

各支社・営業所・出張所 関東、千葉、長崎、関西、大分、相生、延岡、戸畑、上越、諫早、松浦、名古屋、敦賀、福岡、大分東

U-MAT
熱交換器細管 Uベンド部検査装置
U-MAT
Mechanical Access Technology into the U-bend

新規考案の回転機構を搭載し、管内部からUベンド部全面の内厚測定を実現。弊社IUTとの併用により直管部を含めた細管の全長測定が可能。

CCS
C&G SYSTEMS INC.

生産性の限界に挑戦する
We challenge the limit of the productivity

株式会社C&Gシステムズ

C&G 検索
www.cgsys.co.jp

FUJICO
病院・介護施設で支持されているフジコーの建材。
「除菌力」が圧倒的に違います。

光除菌 床タイル
FloorTile

床タイル詳細

今も未来も
廃棄から。

廃棄物の収集運搬をはじめ、廃棄物管理、システム開発やリサイクルなど、多岐にわたる事業に取り組んでいます。

「廃棄」から世界の現在と未来をつなぐ道を切り拓く。
それが私たちビートルグループの使命です。

BEETLE
株式会社 西原商事ホールディングス
〒807-0821 北九州市八幡西区陣原2丁目2-21 TEL 093-644-0158 Email nhk-kikaku@beetle-ems.com

Beetle Engineering
中間処理・リサイクル事業
Beetle Management
廃棄物管理・システム開発運用
収集・運搬

人的資本経営のためのWell-being（ウェルビーイング）向上と個の意識変容や行動変容を促す

実践型リスキリングサービス
みらRe-skilling
provided by MIRAIWORKS

Input
座学での研修を通じて、課題解決に必要なスキル、意識を体系的に理解
eラーニング
座学研修

Awareness
アセスメントやキャリアカウンセリングを通じてのスキルの棚卸し、課題の把握
キャリアカウンセリング
アセスメント

Output
他社・他業界での仕事＝実践プロジェクトを通じてスキル、行動を変容
スタートアップ・ベンチャー
自治体・地域企業

Step 1 知る・興味
インプット
意識醸成
オンラインセミナー・コンテンツ配信

Step 2 自分への落とし込み
現状分析
個人の棚卸し
キャリアカウンセリング・アセスメント

Step 3 実践・行動
アウトプット(実践)
意識変容
副業推進支援
地域課題解決型
副業体験
地域課題解決型
副業体験
地域課題解決型
副業体験

Step 4 新たな活躍
ステップアップ行動変容
新たな職務、新たなステージでの活躍
行動の変容となり、自らでキャリアを築く人材へ

【テーマ例】
・時代と環境における変化
・これからの働き方に必要なマインドとスキル
・人生100年時代の働き方
・自律的なキャリアの築き方
・副業の市場と副業の探し方

・キャリア自律や実践（越境・プロボノ・副業など）など、外に目を向けるための個々のステップづくり、落とし込みの支援
・これまでの経験整理・言語化、スキル棚卸（現状把握）
・個人に合わせたプランニング、また副業に向けたマイルストーン設定、目標立て 等
・越境・副業開始までご本人の状態に合わせてピアカウンセリングや交流会の提案、または継続的なキャリアカウンセリングを実施

・副業推進のための施策設計
・副業紹介システムの構築
・自治体・地域での課題解決体験
・地域企業での副業体験
・スタートアップ・地域企業での就業体験
・出先の開拓・出向中フォロー
・社外コミュニティ
・副業実践者との座談会
・異業種との交流会

個別件支援・オンボーディング支援

編集協力 株式会社みらいワークス MIRAIWORKS
みらリスキリング 検索